

逗子市消防団第3分団建替え計画に係る基本設計（案）

1 設計概要

- (1) 建築場所 逗子市沼間1丁目3番8号
 - (2) 用途 消防分団詰所
 - (3) 用途地域等 商業地域 建ぺい率：80% 容積率：400%
防火指定：準防火地域
 - (4) 敷地面積 約440㎡
 - (5) 構造・規模 構造：鉄骨造 階数：2階建 棟数：1棟
規模：延床面積約150㎡
 - (6) 間取り 1階：車庫27.6㎡、待機室24.8㎡(シャワー室等含む)等
2階：会議室23.7㎡、仮眠室13㎡、女子仮眠室約12.6㎡等
- ※ 2階会議室と仮眠室は、可動式の建具で仕切り、1室として利用可能。

2 設計にあたっての考え方

(1) 全体

- ア 消防施設であるため、耐震耐火性能を有する堅牢な建物とする。
- イ 材料コストを抑えながらも景観や美観に配慮した外観デザイン、仕上げ材の選定を行う。
- ウ 逗子市の脱炭素宣言「チャレンジ！逗子カーボンニュートラル2050」に則り、太陽光パネルや蓄電池を備え、可能な限りエネルギー収支ゼロを目指す施設とするとともに、災害等により電力供給が途絶した場合においても、建物内に必要な電力を供給可能な建物とする。

(2) 消防団

- ア 建物内に消防活動用資機材の収納スペースを十分確保するとともに、敷地北側に大型倉庫を設置し、東方面の消防力を強化する。
- イ 敷地西側には消防車両や各種資機材の点検及び洗浄場所を設ける。
- ウ 女性消防団員の活動に配慮した施設とする。
- エ 新たにシャワー室等を設け、長時間にわたる活動にも対応できる設計とする。

(3) 会議室利用

第3分団詰所は、防災拠点として整備するもので、日常的な会議室の貸出しは行いませんが、地域の主要行事等は施設管理者と協議のうえ、使用できるよう配慮する。